

22:41 アサの子ヨシャファテがユダの王となったのは、イスラエルの王アハブの第四年であった。

22:42 ヨシャファテは三十五歳で王となり、エルサレムで二十五年間、王であった。その母の名はアズバといい、シルヒの娘であった。

22:43 彼はその父アサのすべての道に歩み、そこから外れることなく、【主】の目にかなうことを行なった。しかし、高き所は取り除かなかった。民はなおも、その高き所でいけにえを献げたり、犠牲を供えたりしていた。

22:44 ヨシャファテはイスラエルの王と友好関係を保っていた。

22:45 ヨシャファテについてのその他の事柄、彼が立てた功績とその戦績、それは『ユダの王の歴代誌』に確かに記されている。

22:46 彼は、父アサの時代にまだ残っていた神殿男娼をこの国から除き去った。

22:47 そのころ、エドムには王がなく、守護が王であった。

22:48 ヨシャファテはタルシシュの船団をつくり、金を得るためにオフィルに行こうとしたが、行けなかった。船団がエツヨン・ゲベルで難破したからである。

22:49 そのとき、アハブの子アハズヤはヨシャファテに、「私の家来をあなたの家来と一緒に船で行かせましょう」と言ったが、ヨシャファテは同意しなかった。

22:50 ヨシャファテは先祖とともに眠りにつき、先祖とともに父ダビデの町に葬られた。その子ヨラムが代わって王となった。

22:51 アハブの子アハズヤは、ユダの王ヨシャファテの第十七年にサマリアでイスラエ

ルの王となり、二年間イスラエルの王であった。

22:52 彼は【主】の目に悪であることを行い、彼の父の道と彼の母の道、それに、イスラエルに罪を犯させた、ネバテの子ヤロブアムの道に歩んだ。

22:53 彼はバアルに仕え、それを拝み、彼の父が行ったのと全く同じように行き、イスラエルの神、【主】の怒りを引き起こした。

南王国すなわちユダでは、ヨシャファテの死後ヨラムが王となりました。また北王国すなわちイスラエルでは、アハブの死後アハズヤが王となりました。

ヨラムは父アサが信仰的であったにもかかわらず、バアルに用いて恥の中で死んでいきましたが、それは悪王アハブの娘と結婚したことで影響されてしまったのです。またアハズヤもまた父である悪王アハブの影響を受けたであろうことは容易に想像されます。

家族、夫婦の関係は主に祝福された人生の大きな幸いですが、それだけに主への反逆を受け継がないように、決断と知恵そして勇気とあわれみを求める必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

